



旧胆振線造成工事、周辺住民への理解は

町長 4月中に説明会を開催予定

問

北海道新幹線建設に伴い、移転対象者のための造成工事が提案されている。そこで以下の件について伺う。

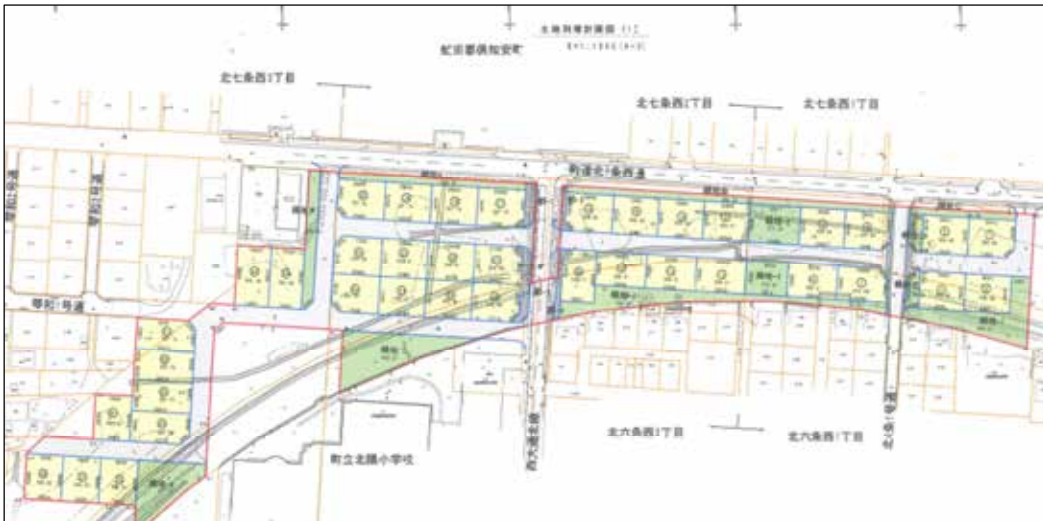
- ①造成地と隣接する地域住民や町内会の意見等を聞く機会をもったか。また、説明会をしたか。
- ②雪対策として隣接地に対する対策検討はしたか。
- ③町内会の再編成は必要ではないか。
- ④北陽小学校を増築しなければならぬ状況になった場合を考慮しているのか。
- ⑤高齢者の方々から集合住宅に移り住みたいという声が出されているが、対応できているのか。

町長

- ①当該宅地造成地周辺の皆様を対象とした説明会は、4月に周辺住民の皆様に対する工事説明会を開催する予定。
- ②現地確認を踏まえ、区割り案について再検討を行い、南側造成地と隣接住宅の間に、緑地を増やす修正案の作成を取り進めているところ。
- ③旧胆振線跡地の宅地に転居される方々の新しい町内会へ

の所属については、町として関係する地元町内会と調整を図る。

- ④教育委員会と協議を行い、必要面積を開発区域から除外している。
- ⑤民間アパートの空き室状況の周知等、役場としてできる限りの丁寧な対応を図っていく。



旧胆振線跡地の宅地造成計画図（案）

町内会加入促進のための施策は

問

前回12月定例議会において、「俱知安町町内会等への加入及び参加を促進する条例」が制定されました。

新年度予算へも啓発のための印刷製本費が計上されていますが、加入促進のための具体的な方策を伺う。

町長

町内会・自治会が自ら主体的に取り組むことが基本であるが、町として積極的に支援していく必要がある。

また、町内会・自治会や町だけではなく、事業者、不動産業者などの関係者もそれぞれ役割を認識し、協働で取り組むことが必要である。

これまでも窓口において転入者に対し、パンフレットによる町内会加入勧奨を行っている。

今後は、町内会・自治会へ加入促進のためのマニュアルを配布したり、事業者、不動産業者へパンフレット、ポスター等で従業員や転入者、来訪者さんに啓発活動の協力をお願いしていく。

